

「農産ビオトープ復活プロジェクト」



農産ビオトープとは

今から 23 年前に建造された農産ビオトープの植栽は、東京低湿地にこだわり地域の植物が使われた。水生植物では、昭和 30 年代に水元小合溜に生息していたアサザやシャジクモを中心に植栽が行われたようだ。

建造からしばらくの間は授業や部活動、地域の方を対象とした講習会が開かれていた。しかしその後は管理する者がいなくなり、セイタカアワダチソウなどの外来種が侵入していた。さらに、シャジクモなどの水生植物の姿が消え、池の部分が草原と化していた。

農産ビオトープ復活プロジェクトの目的

1. アシ等のイネ科植物で覆い尽くされたビオトープの池の一部分を復元する。
2. かつて生息していたアサザやシャジクモ等の水生植物の復活を促す。
3. 池がある水辺の環境を取り戻し、より多様な生物の生息空間を目指す。

2020.8.6 外来種の駆除と草刈り

一部分を残し、草刈りを始めた。外来種のウキ草が水面を覆い尽くしていたので網ですくバケツに入れていった。



草刈りの様子

2020.8.28 穴掘りと土の攪拌

今度は、建造当時のパンフレットを頼りに水生植物が生息していた場所を中心に剣先スコップで土を掘って、攪拌を行った。同時に、アシの地下茎も除去して池への再発生の抑制を図った。



土掘りの様子



作業後の様子（復元池）

2020.10.6 水生植物が復活！

プロジェクトを実施してからほぼ毎日農産ビオトープの観察を続けていた。シャジクモ類らしき植物を発見した私達は喜び、校長先生や先生方も見に来られ、かなり驚かれていた。

しかし、12月には池の水が氷になり水生植物は姿を消した。



出現した水生植物(10月)



池が凍漬けに(12月)

2021.4.16 奇跡の再復活！

私達は環境美化のためにごみを拾いながら観察を続けていた。土の観察をしたとき、突起物を見つけた。シャジクモの芽だ！

そして現在、オモダカという水生植物の復活も確認できた。復元池はシャジクモ達でいっぱいである。水も綺麗でトンボやカマキリ等の生き物達を見られる機会も増え、見応えのあるビオトープになった。環境の維持のために私達は今も草刈りを続けている。



ごみ拾い(4月)



繁茂するシャジクモ達(7月)